

6年道徳	主題名「精いっぱい生きる」 1-(2)希望・勇気・不撓不屈 資料名「市民に愛される動物園を目指して」
6年3組 教諭 宮崎 世司	＜2次公開＞6校時 14：20～15：05

1. 主題設定について

内容項目の特性・特徴

本主題は、道徳の内容1-(2)「より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する」に当たる。高学年の発達段階においては、自分の夢や目標に向かって、歩み始める時期であり、同時に自信がもてなかつたり、夢と現実との違いを意識したりするようになる時期でもある。このような時期だからこそ、様々な生き方への関心を高めると共に、計画的に努力目標をたて、希望をもつことの大切さやくじけずに希望と勇気を持ち、理想に向かって着実に前進していこうとする態度を育てる必要がある。

主題の分析

小学校生活の最後を充実させるために、目標をもって行事に取り組んだり、委員会活動に積極的に取り組んだりする姿が見られる。一方で、時と場にあった行動、周りの友達の思いを配慮する意識がやや薄く、自分で考えたり判断したりすることなく、言われたことだけをする姿が見られることも多い。

本主題を通して、困難を乗り越えて誠実に明るく生きていこうとすることの大切さや自分自身の大切にしたい決意に向かって努力する姿勢を育てていきたい。

2. 授業改善に向けて

改善1【確かな学びの積み上げがある教材化】

・他の教育活動と関連付ける

道徳で学んだことを他の教育活動と関連付けて考えることができるよう指導計画を教師が行う。本資料では、修学旅行（行事）での自主研修や日常の「委員会活動」、総合の実践と関連付けて、困難に直面しても、強く生き抜こうとする素地を高めていきたい。

・「自分ごとになる」資料提示の工夫

旭山動物園の素晴らしさを共感的に捉えさせ、大切な場所という思いを持たせる。そうすることで、旭山動物園が立ち向かった困難に対し、どう解決するとよいか、自分ごととして考えをもつことができるようにする。さらに、子ども達の考えに対するように、小菅園長が「当たり前のこと」とした活動を提示する。その価値、小菅園長の考えに触れ、道徳的価値についての自分の感じ方、考え方を自覚させていく。

改善2【子どもの学びが高まる3つの場】

・つかむ場

修学旅行で訪れた旭山動物園。見学して実感したその素晴らしさを想起することで、本時の課題へとつなげて

いく。また、資料を切り取って使用することで、共感的に飼育員さんたちの立場に立ち、自分ごととして課題に向かうことができるようにする。

・わかる場

閉園から廃園と困難を迎えた旭山動物園では、どのように乗り越えようとしたのかを考える。「新しい施設を作る」「イベントを開催する」などと自分なりの解決策を交流した後、園長の小菅さんが決断した「当たり前のこと」を提示する。その価値を、交流することで深めていく。

・たしかにする場

目新しいことではなく、「当たり前のこと」を大切に行った小菅園長。その園長の言葉を手がかりに、自分の学びに気付かせたい。そこで、小菅園長に手紙を書く活動を取り入れた。

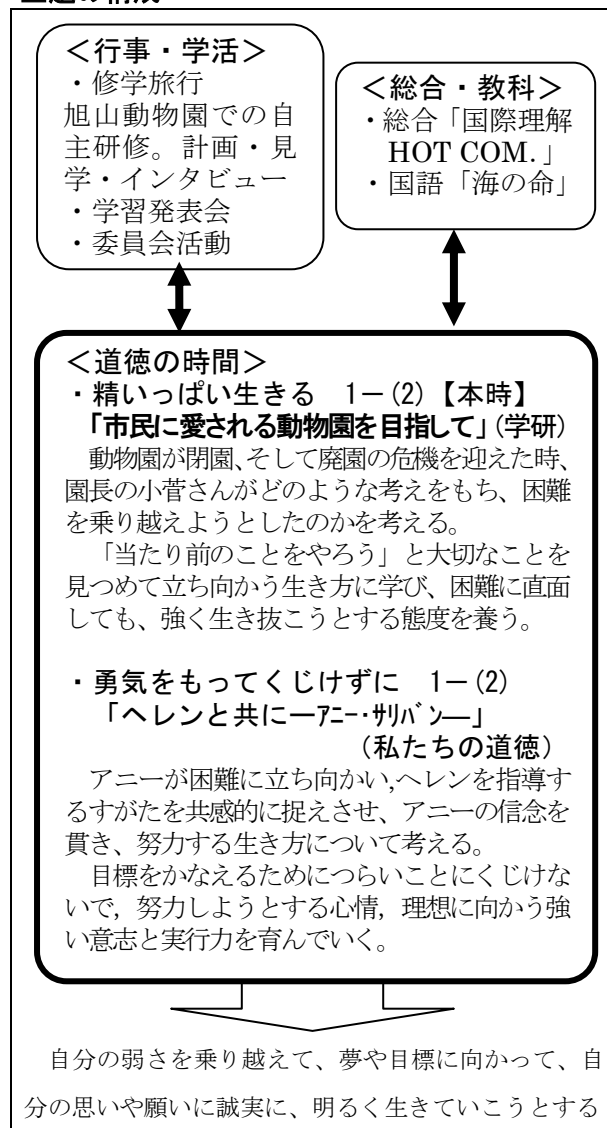
小菅園長のどのような考え方に共感したのか、具体的に書き、自分はこれからどうこの学びを生かしていきたいか、言葉にすることで、道徳的価値に迫ってきたい。

3. 主題構成

・主題のねらい

どんな困難に直面しても、生きることの素晴らしさを胸に、強く生き抜こうとする態度を養う。

・主題の構成



4. 本時案

<p>本時の目標</p>	<p>旭山動物園 園長の小菅さんをはじめとする飼育員さんたちが、困難を乗り越えるために行った「当たり前のこと」の価値を見つめ、自分の生き方について考える。</p>	
<p>場</p>	<p>子どもの意識の流れと学習活動</p>	<p>教師のかかわり</p>
<p>つかむ</p>	<p>旭山動物園のよさを交流することで、動物園の価値をつかむ</p> <p>○旭山動物園の素晴らしい所を考える。 ○2009年まで日本で2番目の来園者数(307万人)、今でも250万人以上の事実を知る。 ○1994年 閉園の危機が訪れた事実を紹介。【読む】 ○閉園→廃園の危機へと状況が悪化した事実をつかみ、どのような対応をすべきか考える。</p> <p>小菅さんたちは、この困難をどう乗り越えようとしたのだろう。</p>	<p>【ICT③資料の提示・共有】</p> <ul style="list-style-type: none"> 旭山動物園の特徴である行動展示や手作りのパネル、ボランティアガイドの写真を提示することで、よさに気付かせる。 廃園の危機を知らせ、困難な状況を把握させる。
<p>わかる</p>	<p>自分たちが考えた対策と動物園が実際にとった対策とを比べ、小菅さんの思いが分かる。</p> <p>○困難を乗り越えるための対策について、交流する。【話す】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>新しい動物を飼う 珍しい動物がくれば、来園者も増えるのでは？</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>来園者が喜ぶイベント 楽しいイベントを考えて、引きつける？</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>新しい施設を作る 自然に近い形で展示する方法を拡大してみれば？</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>遊具をつくる 小さい子が遊べる場所を作れば、飽きないのでは？</p> </div> </div> <p>○小菅さんのとった行動を紹介し、自分の考えと比べる。</p> <p>「もう一度、当たり前のことをやろう」それは・・・ 『飼育係による動物のガイド』</p> <p style="text-align: center;">決めたのは、動物のガイド？!</p>	<ul style="list-style-type: none"> 多様な見方や考え方を交流するために、ノートに困難を乗り越えるためのアイデアを書かせる。 <p>【吟味する交流の手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの考えと比べる。共感や疑問など考え方を挙手させる。そうすることで、その価値について考えたり、他者の考えを聞く目的意識をもたせたりすることができるようにする。 動物ガイドのよさを交流することで、価値に気付かせる。 その後、来園者が増加した他の要因についても紹介する。 小菅さんに手紙を書くことで、学んだ価値を言語化し、自分の生活とつなげていくことを促す。
<p>たしかにする</p>	<p>動物のガイドを続けた意図を考え、その価値を見出す。</p> <p>○動物ガイドの価値を考え、それをもとに交流する。【話す】</p> <ul style="list-style-type: none"> 飼育員だからこそ知っている特徴を伝えたい。 お客さんと直接話すことで、魅力を伝えられる。 <p>○小菅さんたちのその後の活動の様子を、資料をもとに理解する。</p> <p>○小菅さんの言葉を紹介し、小菅さんから学んだことを伝える手紙を書く。【書く】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本当に大切なことを考えて、続けていくことがすごい あきらめずに続けることが素晴らしいと思う。 <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">大事なことをあきらめずに続けることが大事なんだね。</p>	<p>吟味する交流</p>
<p>本時の目指す子どもの姿</p>	<p>困難を乗り越えるために行った「当たり前のこと」を参考に、自分の生活について、よいことを続け、よくないことを改善しようとする意欲を高める。</p>	

5. 板書計画

